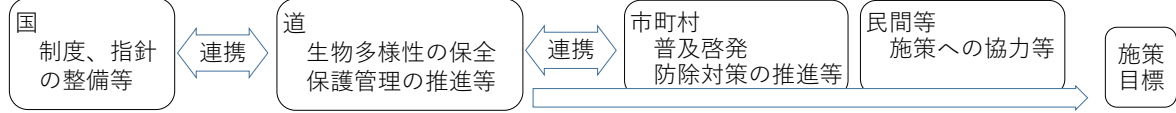


令和3年度 基本評価調書①		所管部局	環境生活部	所管課	自然環境課	
施策名	野生動物等の適正な管理			施策コード	03021	
政策体系(中項目)	豊かで優れた自然・生物多様性の保全とその継承			政策体系コード	1(3)B	
知事公約	C0099、C0102、C0140	総合戦略	A3271、A3281	国土強靱化	B6212	事務事業数 18
SDGs				総合判定	やや遅れている	

【1 Plan】

施策目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性保全の観点から、人と自然の共生を基本とした自然環境の保全と創造を進める。 ・エゾシカなど増えすぎた野生鳥獣やアライグマなどの外来種の適正管理を行い、被害防止対策に取り組む。 ・エゾシカ肉を道産ジビエとしてブランド化するなど地域資源としての有効活用に取り組む。 					
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・急増したエゾシカその他、ヒグマやアザラシなどの野生鳥獣、人為的に持ち込まれた外来種の分布拡大は、農林水産業への被害や人身事故の発生だけでなく、本道の生物多様性の保全にも悪影響を与えるなど、大きな脅威となっている。 ・本道固有の希少な動植物の保護とその生育環境を保全するとともに、野生鳥獣の適正な個体数管理や外来種の防除などの取組を推進する必要がある。 					
主な取組	<p>【生物多様性の保全】ヒグマ等の人里への出没の抑制及び農業被害の軽減を図りながら地域個体群の存続を図る。</p> <p>【ヒグマ対策】管理計画の策定、人身被害防止に向けた普及啓発、出没個体への対応</p> <p>【アザラシ対策】生息数等モニタリング、有効な捕獲手法の検討、アザラシ管理検討会を実施。</p> <p>【エゾシカ対策】条例や各種管理計画等の策定、捕獲手法の普及促進やエゾシカ肉処理施設の認証。</p> <p>【動物愛護】引取られた犬、猫の返還・譲渡の推進、動物愛護の普及啓発、動物の適正飼養の推進、高病原性鳥インフルエンザウイルス対策（渡り鳥の飛来状況巡視、死亡野鳥の回収・検査）</p>					
予算額(千円)	R3	315,374	R2	319,281	R1	295,074
施策のイメージ	 <p>国 制度、指針の整備等 ↔ 連携 → 道 生物多様性の保全保護管理の推進等 ↔ 連携 → 市町村 普及啓発防除対策の推進等 ↔ 民間等 施策への協力等 → 施策目標</p>					

〈成果指標の達成状況〉 ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	減少	相対値	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
エゾシカ個体数指数(東部地域)	目標値		103	92	82	50以下	37.8%	D
	実績値		134	131	128	-		
設定理由	総合計画の政策の方向性「人と自然・生き物が共生する社会づくり」の観点から、エゾシカの適正な管理に係る取組の成果を測る指標として設定。							
分析(主な取組と成果)								
第5期管理計画に基づき策定した捕獲推進プランにより、適正な個体数管理のための捕獲目標を定めるとともに、鳥獣保護区などでは、道が捕獲を実施。平成30年の狩猟事故を受けた安全対策としての国有林・道有林における銃猟制限や令和元年度の少雪、新型コロナウイルスの影響などで、道内の捕獲数は減少。								

指標名②	減少	相対値	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
エゾシカ個体数指数(西部地域)	目標値		213	200	188	150以下	21.5%	D
	実績値		255	253	257	-		
設定理由	総合計画の政策の方向性「人と自然・生き物が共生する社会づくり」の観点から、エゾシカの適正な管理に係る取組の成果を測る指標として設定。							
分析(主な取組と成果)								
第5期管理計画に基づき策定した捕獲推進プランにより、適正な個体数管理のための捕獲目標を定めるとともに、鳥獣保護区などでは、道が捕獲を実施。平成30年の狩猟事故を受けた安全対策としての国有林・道有林における銃猟制限や令和元年度の少雪、新型コロナウイルスの影響などで、道内の捕獲数は減少。								

指標名③	増加	施設	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(R4)	達成率	指標判定
エゾシカ肉処理の認証施設数	目標値		-	-	18	22	83.3%	C
	実績値		-	14	15	-		
設定理由	総合計画の政策の方向性「人と自然・生き物が共生する社会づくり」の観点から、エゾシカの適正な管理に係る取組の成果を測る指標として設定。							
分析(主な取組と成果)								
安全・安心なエゾシカ肉の流通拡大を図るため、認証施設数の増加を推進し、家庭・レストランにおけるエゾシカ肉の利活用機会の拡大が重要と認識している。								

令和3年度 基本評価調書②	施策名	野生動物等の適正な管理	施策コード	03021
---------------	-----	-------------	-------	-------

【2 Do&Check】

成果指標	指標名	前々年度	前年度	評価年度	評価年度目標値	指標判定
成果指標	エゾシカ個体数指数（東部地域）	134	131	128	82	D
	エゾシカ個体数指数（西部地域）	255	253	257	188	D
	エゾシカ肉処理の認証施設数	—	14	15	18	C
目標（指標）の達成状況	国有林・道有林における狩猟安全対策としての入林規制や新型コロナウイルスの影響により捕獲数が減少したため、個体数指数が増加。エゾシカ肉処理の認証施設数については、認証アドバイザー派遣などの取組により、前年より施設数が増加した。				指標総合判定	D
連携状況	農林業被害状況の確認、鳥獣被害防止交付金での各種対策や道有林内の林道除雪など、農政部、水産林務部と連携し対策を推進。保健福祉部と連携し、食肉処理施設での現地審査及び定期的現地確認を行い、食品衛生に関する技術的助言を受けている。				連携判定	○
緊急性優先性	北海道エゾシカ管理計画（第6期）策定に向け、有識者会議、生息状況評価部会において専門家や業界の意見を把握。エゾシカ肉の有効活用の推進については、各地方期成会より要望がある。				緊急性優先性判定	○
総合判定の根拠	市町村等による捕獲のほか、市町村等による捕獲が困難な鳥獣保護区などでは道が捕獲を実施している。引き続き関係部と連携し指標の達成に向けた取組を実施。エゾシカ肉処理の認証施設数の指標の達成については、制度の運用や認証アドバイザーの派遣の取組などを引き続き実施することが必要。				総合判定（一次評価）	やや遅れている

翌年度に向けた対応方針	対応方針番号	内容
	①	エゾシカ捕獲推進プランと市町村の被害防止計画との整合を図り、引き続き指標の達成に向けた取組を推進。
	②	成果指標①②について、現在設定しているエゾシカ個体数指数は、今後、その調査・算定方法の見直しを行う予定であるため、次年度以降の指標については、野生鳥獣による農林業被害額などを成果指標とすることを検討。
	③	安全・安心なエゾシカ肉の流通拡大を図るため、引き続き認証施設数の増加を推進する。

〈二次政策評価〉

前年度二次評価意見	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、施策の目標達成に向け事業内容を精査すること。	対応状況 (R3.3時点)	新型コロナウイルス感染症の影響により低迷した道外狩猟者登録者数、捕獲数及びジビエ利用の回復を図るため、交付金を活用するとともに、捕獲の推進と有効活用の拡大に取り組む。
R3年度二次政策評価	人と自然の共生を基本とした自然環境の保全を図るため、増えすぎたエゾシカの適正な管理は重要であり、取組の一層の推進を検討すること。		

【3 Action】

二次政策評価への対応	エゾシカの適正な個体数管理のため、市町村等による捕獲を推進し、市町村等による捕獲が困難な地域については、道においても捕獲を実施する。
R4施策の方向性	エゾシカの適正な個体数管理のため、市町村等による捕獲を推進し、市町村等による捕獲が困難な地域については、道においても捕獲を実施するとともに、安全・安心なエゾシカ肉の流通拡大のため、認証アドバイザー派遣などの取組により認証施設数の増加を図り、家庭・レストランにおけるエゾシカ肉の利活用機会の拡大を推進する。

令和3年度 補助指標調書①	施策名	野生動物等の適正な管理	施策コード	03021
---------------	-----	-------------	-------	-------

【成果指標の達成状況】

補助指標名①	増加	頭数	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R4)	達成率	指標判定
認証施設の食肉処理頭数		目標値	—	15,000	16,000	20,000	—	—
		実績値	12,560	—	—	—		
設定理由	総合計画の政策の方向性「人と自然・生き物が共生する社会づくり」の観点から、エゾシカ肉の有効活用に係る取組の成果を測る指標として設定。							
分析（主な取組と成果）								
<p>※評価年度の実績値がないため達成率は算定不可。 安全・安心なエゾシカ肉の流通拡大を図るため、認証施設数の増加を推進し、家庭・レストランにおけるエゾシカ肉の利活用機会の拡大が重要と認識している。</p>								

補助指標名②			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
		目標値						
		実績値						
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

補助指標名③			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
		目標値						
		実績値						
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

補助指標名④			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
		目標値						
		実績値						
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

補助指標名⑤			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
		目標値						
		実績値						
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

